

「こころの絆創膏キャンペーン」実施報告

南鯉城会(こなみ会)広報

原智恵子

9月の自殺予防週間に合わせ、名古屋市が啓発活動をしているその一環として『こころの絆創膏』を市民の方に配布しました。自殺と深い関係があるうつ病や不眠の症状・相談員などを掲載しています。

鯉城会では9月10日(火)~13日(金)の朝夕、それぞれの区で決められた駅で行いました。

こなみ会は13日(金)の朝8時からで10名参加し、地下鉄千種駅で千種鯉城会と共に一人100枚持って配布しました。37期も3名参加しました。

改札口の近くでは急ぐ人に圧倒され、受け取ってもらえない人が多かったですが、粘り強く声をかけました。また、階段を下りてくる人に声をかけたら目を合わせ受け取ってくれる人が多くいました。やはりにっこり笑って差し出すとよいようです。

皆さん手際よく配り、30分ほどでほとんどの人が持ち分を配り終えることができました。参加の皆さん、お疲れ様でした。

